

全財務局 管内経済情勢報告

	前回（４年１０月判断）	今回（５年１月判断）	前回との 基調比較	全局総括判断の要点
全局総括	供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	物価上昇や供給面での制約等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、物価上昇や供給面での制約等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直している。
財務局名	前回（４年１０月判断）	今回（５年１月判断）	前回との 基調比較	各財務局の総括判断の要点
北海道	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	→	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直しつつある。観光は、持ち直しつつある。
東北	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスがスマートフォン向けなどで弱含んでいるほか、生産用機械が海外の設備投資需要の落ち着きから一服感がみられるなど、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
関東	供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	物価上昇や供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、百貨店販売額、スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額などが前年を上回っているほか、宿泊や飲食サービスなどは持ち直しており、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に供給面での制約の影響がみられるなか、輸送機械などが増加しているものの、生産用機械、化学が減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
北陸	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	→	個人消費は、ドラッグストア販売が順調となっており、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直していることなどから、全体では緩やかに持ち直している。生産活動は、生産用機械が拡大しているものの、電子部品・デバイスが弱い動きとなっていることなどから、全体では回復に向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
東海	<u>緩やかに回復している</u>	<u>緩やかに回復している</u>	→	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、供給面での制約等の影響がみられるなか、総じてみれば、足踏みの状況が続いている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
近畿	<u>持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	→	個人消費は、人流の回復やインバウンドの増加により、持ち直している。生産活動は、供給面での制約が徐々に緩和され、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。
中国	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	↔	個人消費は、行楽需要の高まりなどにより持ち直している。生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、新規求人数が増加しているなど持ち直している。
四国	<u>持ち直しつつある</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>	↔	個人消費は、百貨店が持ち直しに向けた動きに一服感がみられるものの、スーパーが堅調なほか、観光等が持ち直していることから、全体としては緩やかに持ち直している。生産活動は、汎用・生産用機械が緩やかに持ち直しているものの、化学で持ち直しに向けたテンポが緩やかになっているほか、電気機械が足踏みの状況にあることから、全体としては横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
九州	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	↔	個人消費は、物価高の影響もみられるなか、観光需要喚起策の効果などにより、持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスや汎用・生産用・業務用機械を中心に緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、持ち直している。
福岡	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	↔	個人消費は、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
沖縄	<u>緩やかに持ち直している</u>	<u>持ち直している</u>	↔	個人消費は、緩やかに持ち直している。観光は、旅行需要喚起策の効果などから、持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。

(注) ※ ５年１月判断は、前回４年１０月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断。
 ※ 下線部が基調判断。